

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★
**GOOD NEIGHBORS
JAMBOREE**
10 YEARS OF HARMONY

2019 年 8 月 24 日 (土)

11:00 OPEN / START

リバーバンク 森の学校 (旧長谷小学校)
鹿児島県南九州市川辺町本別府 3782-2



Photo: Shuichiro Minami

2019 年、「グッドネイバース・ジャンボリー」は 10 周年

2009 年にスタートしたグッドネイバース・ジャンボリーは今年で 10 周年を迎えます。地元のミュージシャンやクラフト作家、アーティストやレストラン、カフェなどのシェフやショップオーナーなど、多様な作り手と来場者の 2000 人ほどが集結する夏の 1 日。10 年の月日を重ねたことで地域との関わりが生まれ、再生エネルギーの活用やフェスティバル中に出るゴミ処理方法の改善、廃校や空き家の再生など、地域課題にもひとつひとつ取り組んできました。

そして、2019 年は新たなスタートを切ります。今年のメッセージは「10 YEARS OF HARMONY」。ここに集まる方々とどのような《ハーモニー（調和）》を奏で、これからも心地よい場を作り出していくことができるのか、どうぞご期待ください。

★ 広報のお問い合わせは下記までご連絡ください。

グッドネイバース・ジャンボリー運営委員会 広報担当 四元 朝子（サンカイ・プロダクション合同会社内）
contact@sankai-pro.com tel.080-4157-5531

「グッドネイバース・ジャンボリー」 4つの見どころ

[1] 生まれ変わった《リバーバンク 森の学校》：

築 100 年に迫る木造校舎を中心とした「かわなべ森の学校」は 2018 年冬、この場所を愛する地元住民と、グッドネイバース・ジャンボリーの運営メンバーを中心に新しく生まれ変わりました。

2009 年の初回より、年齢を問わず多くの人々がこの場所に集い、交流し、楽しい時間を過ごしてきました。ただ、木造校舎をはじめとした施設の老朽化が問題となり、2018 年にグッドネイバース・ジャンボリー主宰の坂口修一郎をはじめ、本イベントの運営に関わるスタッフと地元住民の有志が集まり、一般社団法人リバーバンクを設立。場の再生へと着手しました。壁の塗り替えを手伝うこどもたち、施設の机や椅子を作るおとなたちも含めた多くの人々の手を借り、約半年をかけて補強・改装。以前からの温かい雰囲気を残しつつ、時代に即して研修やイベントなどにも使いやすいように、キッチンや宿泊機能も備わり、新しく変わりました。そして、「リバーバンク 森の学校」と名前を変え、次の時代への一歩を踏み出したのです。



▶ 一般社団法人 リバーバンク <https://riverbank.jp/>



左：施設の改装を手伝う小学生。 中央：新しくできた食堂棟でキッチンとダイニングが。 右：改装された校舎は地元住民の交流場に。

[2] 会場構成を一新。新たなコンテンツも：

推定樹齢 100 年のクスノキ、むかし懐かしい木造校舎はそのままに
校庭を臨む食堂棟を使った食にまつわる学びの場も。

毎年、地元や県外から多くのレストランやカフェが出店し、フードも充実のグッドネイバース・ジャンボリー。地元川辺町自慢のかわなべ牛はもちろん、各地の料理人など、県内外からの様々なレストランやカフェの味をお楽しみいただけます。今年は会場の改装によりさらにパワーアップし、ガーデンキッチンを備えた食堂棟を中心にワークショップ等のコンテンツが詰まった《食のカレッジ》も予定。ご期待ください。



Photo.Kenji Fujimaki

Photo.Shuichihro Minami

[3] 次世代へのアプローチ：

《小学生向けサマースクール》と《学生割引》を実施。

10年を迎えて、グッドネイバース・ジャンボリーは次の世代に伝えていくための試みを2つ行います。

ひとつは、小学3年生～6年生の子どもたちに4日間の宿泊及び学びの場を提供する「mammoth “SUMMER” school by BE A GOOD NEIGHBOR」。地域の暮らしに触れ、自然を探索し、また地元の木工作家 川畑健一郎と作品制作を行い、鹿児島県南九州市の川辺町高田地区に暮らす人々が大切にしてきた今も残る《昔ながらの日々の生活》を多様な視点から体験します。あわせて子ども同士のワークショップで考えたコンテンツを携え、8月24日にはグッドネイバース・ジャンボリーに《プレイヤーとして出店》する企画も。高校生・高専生向け起業体験プログラム StartupBaseU18 を設立した森真悠子もディレクターとして子どもたちの柔軟な思考/活動のサポートを行います。この地域の日々の暮らしと祝祭の時間を体験し、地域に良い思い出を持つ人《関係人口》がこれからも増えていくことを願うグッドネイバース・ジャンボリーの想いにあふれたプログラムです

もうひとつのアプローチは、中学高校生を対象にしたグッドネイバース・ジャンボリーの学生割引価格の導入です。この場に集結するクリエイティビティにあふれた人々の活動に触れ、または交流するといった、これからの社会を担う若い世代がより本フェスティバルを体験しやすい状況となるよう、一般料金の半額以下の入場料価格を作りました。*

*チケット販売システムの都合上、一度一般チケットを購入いただき、来場の際に返金となります。詳細は概要ページをご覧ください。



2018年時のワークショップ及び会場の子どもの様子

Photo.Shuichiro Minami



写真左：川畑健一郎（左）、森真悠子

[4] 県内外の出演者が続々決定：

ミュージックライブ、ワークショップ、トークイベントと、多様なジャンルの参加者が集結。また、この場だからこそ生まれるフリーな交流が実現する実験的な企画も。

2019年のゲストミュージシャンは、欧米の数々のレーベルからアルバムをリリースし、イビサ・チルアウトの歴史的な名作『Cafe del Mar』をはじめ、世界各国の40作品を超えるコンピレーション・アルバムに楽曲が収録された下田法晴のソロユニット SILENT POETS が、自身の25周年を機に結成したフルバンド SILENT POETS SPECIAL DUB BAND。メンバーは Port of Notes、LITTLE TEMPO、YOSSY LITTLE NOISE WEAVER、Double Famous などの名だたるバンドのミュージシャン10数名で構成され、2018年12月の渋谷WWW初ライブ時には音楽配信コミュニティサイト OTOTOYで「奇跡的な時間」とも評されました。そのフルバンドが、東京の初回ライブより9ヶ月ぶりに鹿児島で特別に再結成されるという、夢のような機会です。

また昨年のグッドネイバース・マーチングバンドで会場を沸かせた LAGBAG MUSIC ORCHESTRA は、ジャンルにとらわれない音楽性と類まれな歌唱・表現力で国内外から幅広く支持され、スタジオジブリ映画『かぐや姫の物語』（2013年）で、主題歌「いのちの記憶」を作詞・作曲・歌唱したことで知られる二階堂和美とセッションします。もちろん、毎年人気の otto&orabu（しょうぶ学園）も今年も参加します。

あわせて、来場者の心もお腹も満たす毎年人気のフードブースやワークショップ、映画上映やトークイベント「Good Neighbors College」も様々なゲストを迎えて充実したラインナップを予定。なお、昨年よりスタートした《地域プレイヤーと企業・団体が新たなステップへと向かう実験の場「Good Neighbors Joint」》も準備中。詳細は決定次第、オフィシャルウェブサイトでも順次発表いたします。



SILENT POETS SPECIAL DUB BAND



上：二階堂和美、中央：LAGBAG MUSIC ORCHESTRA、下：otto&orabu（中央、下：Photo.Shuichiro Minami）

きく、みる、つくる、まなぶ、たべる、つながる。

『みんなでつくる真夏の文化祭』グッドネイバース・ジャンボリーは、
2019 年 10 回目の開催を迎えます。

今年 10 回目の開催となるグッドネイバース・ジャンボリー（GNJ）は、音楽、クラフト、デザイン、アート、ダンス、写真、映画、文学、食...など活動を自然の中で楽しむクロスカルチャーのお祭りです。2010 年から毎年夏の終わりに鹿児島県川辺町で開催してきました。初回からの開催地である「かわなべ森の学校」は、深い森の中に佇む築 100 年に迫る古い木造の校舎と校庭の大きなシンボルツリー印象的な廃校。この森を舞台にジャンルを超えて行われるおよそ 100 にもおよぶコンテンツやワークショップは、多様なクリエイターどうしのコラボレーションを促し、大人も子供もさまざまな形で参加できるようにプログラムされています。

2018 年からは、地域の方々といっしょに立ち上げた川辺の地域活動団体『一般社団法人リバーバンク』が森の学校の管理運営を引き継ぎ、「リバーバンク森の学校」として再生のための活動を行っています。GNJ がきっかけとなって始まったこの取り組みによって森の学校はいままで以上に開かれた場として地域内外の方に利用されるようになりました。

私たちはこのフェスティバルを通じて「文化の地産地消」というテーマのもと土地の魅力を見出し、ローカルの文化振興に貢献していくことを目指しています。

グッドネイバース・ジャンボリー実行委員会代表
坂口修一郎



左上：Photo.Kenji Fujimaki 他 Photo.Shuichiro Minami

////////// イベント開催概要 //////////

GOOD NEIGHBORS JAMBOREE2019 (グッドネイバース・ジャンボリー2019)

2019 年 8 月 24 日 (土) 11:00 OPEN / START

リバーバンク 森の学校 鹿児島県南九州市川辺町本別府 3782-2

goodneighborsjamboree.com

//////////

【一般】 前売：¥5,000 / 当日：¥6,000 ※小学生以下無料（ワークショップ参加費別途） ※当日チケットは、
前売り完売の場合、発売されない場合もあります。

発売日：6 月 14 日より前売チケット発売。

発売場所：[1]オフィシャルサイト、[2]ファミマ/ファミポート、[3]ローカルショップ

詳細はオフィシャルウェブサイトをご覧ください。

【学生割引価格】：¥2,000 ※上記発売所にて購入のチケットと学生証提示でイベント当日に現金 3,000 円キャッシュバック。
下記注意事項を参照ください

学生割引価格に関して 注意事項

※学生割引の対象は、中学～大学院・短大・専門学校生のお客様となります。塾・予備校等は学割の対象外です。

※イベント当日の入場時に、学生証と身分証明証(保険証/免許証/パスポート等)のご提示をお願い致します。

※イベント当日に学生証及び身分証明証をご提示頂けない場合は、キャッシュバックはできません。

//////////

ライブ： SILENT POETS SPECIAL DUB BAND

otto&orabu

二階堂和美+LAGBAG MUSIC ORCHESTRA ほか

DJ： 川辺ヒロシ & GOOD NEIGHBOR DJs ほか

ステージアート：上野雄次、坂口順一郎 (NØGLE)、CALMA 岡本亮

トークイベント：岡本仁ほか

※詳細は決まり次第順次、ウェブサイトで発表します。

主催：グッドネイバース・ジャンボリー実行委員会 後援：鹿児島県、南九州市

企画制作：BAGN Inc.、SR Factory、WALKINN STUDIO、ash Satsuma Design and Craft

協力：一般社団法人 リバーバンク

◎お問い合わせ：GOOD NEIGHBORS JAMBOREE goodneighborsjamboree@gmail.com

◎広報のお問い合わせ：グッドネイバース・ジャンボリー実行委員会 広報 四元 朝子 (サンカイ・プロダクション合同会社内)
contact@sankai-pro.com tel.080-4157-5531

mammoth “SUMMER” school by BE A GOOD NEIGHBOR 2019 年 8 月 22 日 (木)~25 日(日)

対象：小学 3 年生～6 年生 (定員 20 名)

参加費：¥69,000 ※鹿児島中央駅～会場までのバスの送迎、宿泊、全食事、保険、材料子どもたちが
身につけるオリジナルグッズなどの費用を含む。

申込方法はグッドネイバース・ジャンボリーと異なります。詳細は下記オフィシャルウェブサイトを
ご参照ください。 <https://goodneighborsjamboree.com/2019/mammoth-summer-school/>

アーティスト資料 (抜粋)

[ライブ スペシャルゲスト]

SILENT POETS

東京在住の DJ/プロデューサーである下田法晴のソロユニット。1992 年のデビュー以来、長きに渡る活動を通じて、メランコリックでエモーショナルな DUB サウンドを育んできた。これまでにフランスの Yellow Productions、ドイツの 99 Records、US の Atlantic といったレーベルからアルバムがリリースされ、イビサ・チルアウトの歴史的名作『Cafe del Mar』をはじめ、世界各国の 40 作品を超えるコンピレーション・アルバムに楽曲が収録された。

2013 年に自身のレーベル、ANOTHER TRIP を設立。再構築 DUB アルバム『Another Trip from the SUN』を発表し、エンジニアの渡辺省二郎と SILENT POETS LIVE DUB SET としてリキッドルームなどでライブを行った。

2016 年にラッパーの 5lack をフィーチャーした NTT ドコモ Style20' CM ソング「東京」が ACC TOKYO CREATIVE AWARDS クラフト賞サウンドデザインを受賞。

2017 年、FUJI ROCK FESTIVAL 出演を果たし、7 インチシングル「SHINE feat. Hollie Cook」のリリースを皮切りに、デビュー 25 周年プロジェクトを始動。2018 年、12 年ぶりのオリジナルアルバム"dawn"をリリース。

www.silentpoets.net

二階堂和美

ジャンルにとらわれない音楽性と、類いまれな歌唱・表現力で国内外から幅広く支持されているシンガーソングライター。現在までに約 20 作を発表。代表作は 2011 年発表のアルバム『にじみ』。スタジオジブリ映画『かぐや姫の物語』（2013 年）で、主題歌「いのちの記憶」を作詞・作曲・歌唱。近作に、21 人編成のビッグバンド、Gentle Forest Jazz Band と組んだ『GOTTA-NI』（2016 年）。「サッポロ一番」「earth music & ecology」ほかテレビ CM 歌唱も多数。2019 年 1 月、著書『負うて抱えて』が晶文社より刊行。広島県在住。浄土真宗本願寺派僧侶でもある。

www.nikaidokazumi.net

LAGBAG MUSIC ORCHESTRA

音楽で暮らしを豊かにをコンセプトにしたゆかいな楽器店「LAGBAG MUSIC」が作った小編成のオーケストラです。本格的な音色を、たのしく、ときには おかしく へんてこ に、お届けします。

Ladies And Gentlemen, Boys And Girls, MUSIC.

lagbagmusic.com

otto&orabu

鹿児島市にある障害者支援施設「しょうぶ学園」の主宰する otto(おっと)は、「心地よい不揃いの音」という独自の表現スタイルをコンセプトに、2001 年に民族楽器を中心に結成したパーカッションバンド。足並みがそろわない頑強にずれる音、パワーのある音、不規則な音が自由に、そして純粹に楽しくセッションすることによって、心地よい不揃いの音を生みだす。またヴォイスグループ orabu (おらぶ=鹿児島弁で「叫ぶ」の意)は、叫びのコーラス。otto のリズムと orabu のヴォイスが絶妙のコラボレーション空間を創造する。音楽は、即興的なイメージの組み合わせによる新しい音の発見と偶然性を大切にしながら、一貫してオリジナル曲で構成しています。見て楽しむ、聴いて楽しむ、ジャンルを超えて新しい音の世界を模索。「GOOD NEIGHBORS JAMBOREE」には第 1 回からレギュラー出演。

高木正勝、UA 他様々なミュージシャンとセッションを行うなど、日本各地で演奏活動を続け、2014 年には初の CD 音源「encounter」をリリースした。 www.shobu.jp/otto.html

[ステージアート]

上野雄次

花道家／アーティスト。1967 京都府生まれ、鹿児島県出身。東京都在住。

1988 勅使河原宏の前衛的な「いけばな」作品に出会い華道を学び始める。国内展覧会での作品発表の他、バリ島、火災跡地など野外での創作活動、イベントの美術なども手掛ける。2005～「はないけ」のライブ・パフォーマンスをギャラリーマキ（東京）で開始。

地脈を読み取りモノと花材を選び抜いて活けることで独自の「はないけ」の世界を築き続けている。

創造と破壊を繰り返すその予測不可能な展開は、各分野から熱烈な支持を得ている。

詩人、写真家、ミュージシャン、工芸家、ファッションデザイナー、茶人等とのコラボレーションも多数行っている。

青葉市子 安藤雅信 井山三希子 江波富士子 扇田克也 大塚咲 大多和正樹 岡本紀彦 奥野美果 狩野智宏 喜多村光史 木部与巴仁 橘川琢 ケンジルピエン 小西潮 GORO 早乙女宏美 猿山修 謝小曼 生野毅 白石かずこ スティーブ衛藤 関さなえ 東京キャバニー トマツタカヒロ 富田哲之 中里和人 中原昌也 中村卓夫 中村卓也 長瀬哲朗 南條レオ 二階堂明弘 西村陽一郎 額賀章雄 ピンク・ブルー 深谷正子 堀越彰 松村宗亮 円奴 三川貴史 村田昇 山下洋輔 矢野顕子 吉本裕美子 レナード衛藤 若林美保 Arto Lindsay (アート・リンゼイ) ANTIBODIES Collective (カジワラトシオ・東野祥子) Everlasting sprout CINEMA dub MONKS F.I.B JOURNAL Jeff Mills (ジェフ・ミルズ) 他多数

[mammoth “SUMMER” school by BE A GOOD NEIGHBOR]

サマースクール・ディレクター

森 真悠子

株式会社まつりば 代表取締役。千葉大学理学部卒。高校理科免許を取得。在学中に経産省インターネット博覧会のプロジェクトメンバーとして参加。NTT ドコモ入社。imode のサービス開発に従事しながら、週末に音楽や演劇の子どもワークショップを運営。どんどん便利な世の中になることを感じ、コンテンツ事業に興味に移り、教育分野へ。2007 年ベネッセコーポレーション入社、高校生の進路支援に従事。退職後、2014 年 7 月株式会社まつりば設立。その後、U18 部門の継続運営のため Startupweeknd から独立し、高校生・高専生向け起業体験プログラム StartupBaseU18 を設立。趣味は、フラメンコと登山。<http://matsuriba.com>

木工ワークショップ講師

川畑 健一郎

1973 年 2 月 16 日生まれ。DWELL 主宰。

埼玉の木工所で経験を積んだ後、1998 年に独立、鹿児島でオリジナルの家具の製作を始める。現在は、全国各地の工務店と共同で「豊かな暮らし」の提案を展開中。www.dwell.work